NITS 独立行政法人教職員支援機構

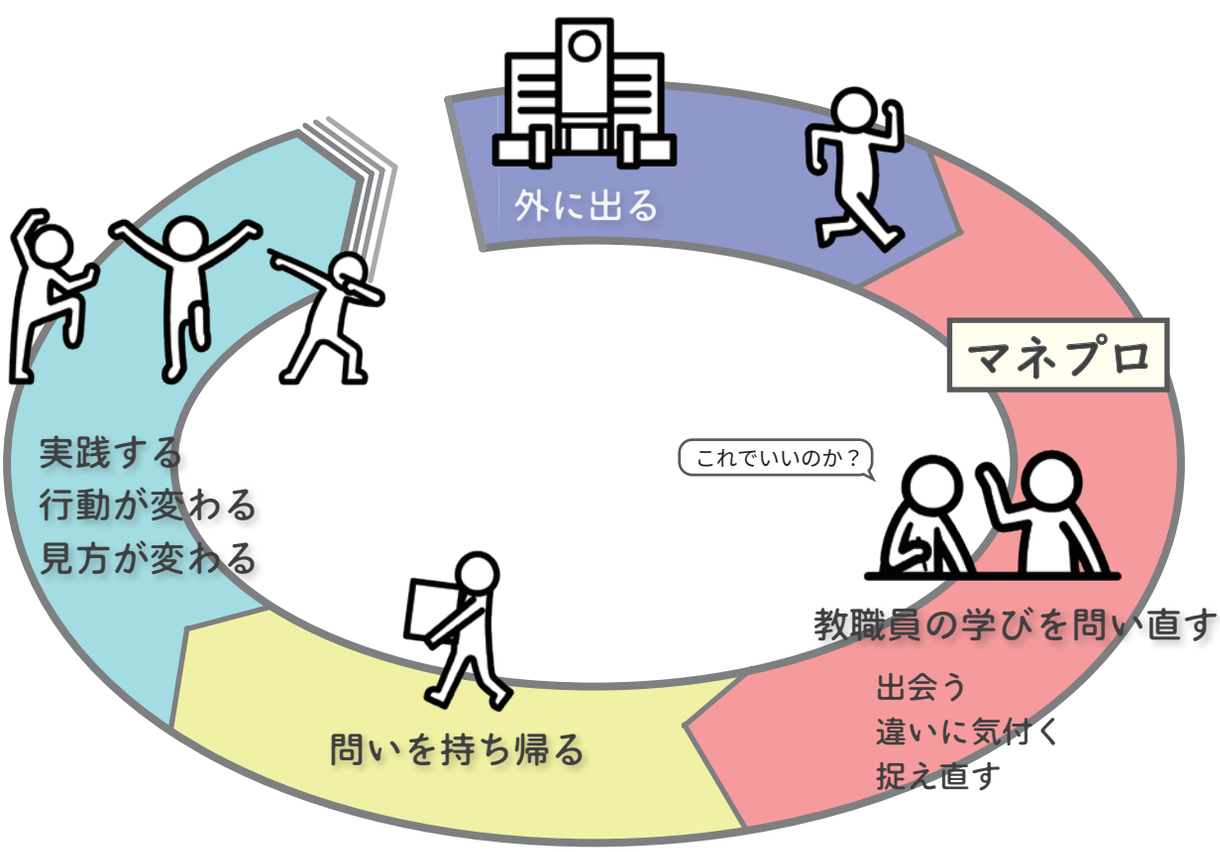
子どもの学びが変わる
教師の学びはどうだろうか

研修観の転換
――なぜ、必要？でも、どうやって？

そんな問いから、マネプロは始まりました

研修マネジメント力協働開発プログラム

マネプロ 地域版



研修マネジメント力協働開発プログラム（マネプロ）とは

- NITS では、子どもの学びの転換を契機に、それを支える教師の学び（教職員研修）の在り方を今一度問い直すため、「研修観の転換」に向けた取組を進めています。
- なかでも、このマネプロは、各地域の研修担当等が県域を越えて一堂に会し、コミュニティの醸成を図りながら教職員の学びの在り方を協働的に問い、新たな教職員研修を考えていくプログラムです。
- 令和７年度より、全国７地域（北海道・東北・関東甲信越・東海北陸・近畿・中国四国・九州）で展開しています。

対象者

- 教職員研修を担当する教育委員会やセンターの職員
- 各学校で校内研修等を担当する研究主任等
- 教職大学院生

※本プログラムの参加は希望制です。当機構の実施する他の研修と異なり、自治体の推薦は必要ありません。

Q 具体的には、どんなことをするの？

A 地域によって内容は異なりますが、グループによる対話や省察を取り入れながら、「教職員の学び」や「研修の在り方」を多様な視点から問い直していくプログラムを展開しています。

また、普段は研修の設計者側である方々に、「参加者」としてマネプロを体験・体感していただくことで、参加者主体の研修設計の在り方を具体的に模索できるよう意識したプログラムデザインをしています。対面・オンライン等を交えながら、各地域、年２、３回程度実施予定です。

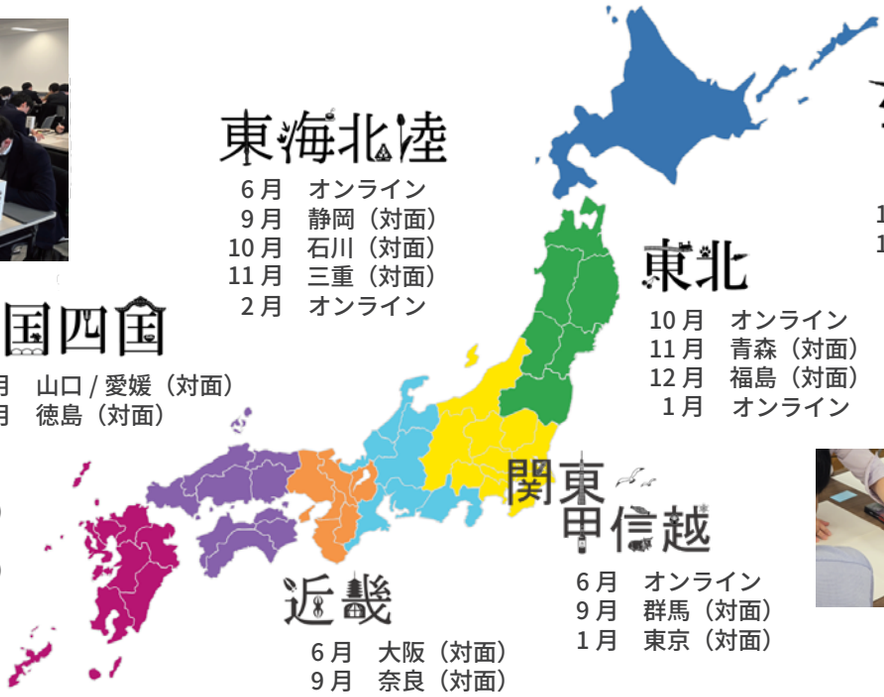
参加者の声

- 悩みを共有したり、新たな視点や思いに気付くことで、それぞれが自分の中の課題を見つけ、深め、考えを変化させながら、答えを見つけていくことが、対話による学び合いの良さ。また、対象者の課題が多様だからこそ、研修の落とし所も一つでなくてよいことを改めて体感できて良かった。
- 「伝達型」から「探究型」への転換という抽象的な概念が、緻密に計算された場づくりを通して、再現性の高い学びとして提示されていました。参加者の心理的負荷を軽減する伝え方や、議論を価値ある学びに昇華させることを体感できたことは、実務に直結する大きな収穫でした。

令和８年度 研修マネジメント力協働開発プログラム（地域版）年間スケジュール（予定）

※各地域における研修マネジメント力協働開発プログラム（地域版）の開催時期・場所の目安です。
詳細な開催日については各地域の実施要項が決まり次第、発信していきます。

＜R8.4.1 時点＞



北海道
6 月　釧路（対面）
9 月　札幌（対面）
10 月　函館（対面）
11 月　オンライン

東北
10 月　オンライン
11 月　青森（対面）
12 月　福島（対面）
1 月　オンライン

東海北陸
6 月　オンライン
9 月　静岡（対面）
10 月　石川（対面）
11 月　三重（対面）
2 月　オンライン

中国四国
6 月　山口 / 愛媛（対面）
8 月　徳島（対面）

九州
9 月　福岡（対面）
11 月　オンライン
3 月　長崎（対面）

関東甲信越
6 月　オンライン
9 月　群馬（対面）
1 月　東京（対面）

近畿
6 月　大阪（対面）
9 月　奈良（対面）
2 月　京都（対面）

詳細は
こちらから▶